

MURP とは?!



MURP HP

世代や地域の壁を飛び越えて、さまざまな人と人を団結させたいという想いに共感したメンバーで結成された、地域ボランティアを行う非営利組織です。MURPでは、地域住民が楽しく集い親睦を深めることを図るために、一つの世代に焦点を当てる活動を行うだけでなく、多世代交流の促進を目指しています。

活動事例



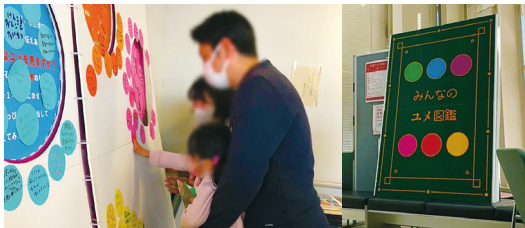
「水族館を作ろう!」(令和5年7月)



「JUN SKY WALKER(S) Free Live in Nishi-Tokyo "Birthday Party"」(令和5年5月)



「ユメバルーンを夜空へ。」(令和5年9月)



「ともに生きる! まちづくりフェス」(令和5年3月)



「しもじゅく夏祭り2023 in きらっと」(令和5年8月)

MURP

副代表

酒井 朝基^{さかい ともき}さん

人と人、人と地域がつながる大切さを実感

「平和」につながる行動、いま私たちができることは?

MURPとして活動していて、人と人、人と地域がつながっていく大切さを実感しています。地域の中で緩やかなつながりが生まれることで、人と人との顔が見える関係性ができて、それが高齢者の孤独死防止や構造的暴力による虐待の防止、ひいては広い意味での平和につながるのではないかと思います。

私自身、昨年6月にバングラデシュの児童労働とSDGsを通じて平



池澤市長から

平和を考える上では顔の見える関係をつなぐのが大切

顔の見える関係をつないでいくのは平和を考える上ではとても大切なことだと思います。「子ども・若者平和ワークショップ」は毎年続けたいので、その機会になればと思っています。

MURP

参事

巻嶋 幸帆^{まきしま さちほ}さん

地域のつながり作りに貢献したい



昨年一年で、一番印象に残った活動を教えてください。

私はMURPに所属したのが昨年からなので、まだそれほど多くの体験はしていないのですが、昨年の7月に開催した「水族館を作ろう!」は楽しかったですね。参加されたお子さんはもちろん、一緒に来てくださった保護者の方やのぞきに來られた地域の方、そして私たち



和を考えるワークショップ、「子ども・若者平和ワークショップ」をお手伝いさせていただきました。幅広い若者世代が参加しており、私自身、子どもの頃に平和について触れる機会が少なかったこともあって、平和について考える貴重な機会を持てました。

日本是世界でも唯一の被爆国でもありますし、歴史的な事実を各世代に語り継いで平和の尊さを学ぶことが大切だと思います。そうした思いを持てる機会を作れるのもMURPの活動の意義なのかなと感じています。

MURPメンバーも一緒に楽しんでいる様子が強く感じられ、人と人がつながっているなと感じました。

日本における平和についてどう考えますか。

MURPの活動を通じて、人と人が顔の見える関係を築くことの大切さを実感しています。「平和」ということは、戦争や紛争だけでなく、災害や犯罪が起こらず、人々が不自由なく暮らせることを指すのだと思います。日本は幸い、75年以上戦争が起こっていませんが、差別や間接的な暴力などが起こっている現状もあり、本当の意味で平和とはいえない状態だと思います。

顔の見える関係を築くことによって、防犯や防災などさまざまな効果が生まれるのではないのでしょうか。これからも私たちの活動を通して地域のつながり作りに少しでも貢献できるように模索したいと思っています。

若者の平和への思いに期待

皆さんとともに平和への思いを未来へつないでいきたいと思っています。皆さんが平和に暮らせる社会は、日常の少しの工夫からでも始められると思います。若い人の力に期待しています。



池澤市長から

市長から 皆さんへ

昨年を振り返ると、若い人たちがまちづくりに参加することは、とても大切なことだと感じた1年でした。当市も誕生して23年経ちます。まちづくりにおいて、一緒に未来につないでいくためにはやはり若い人の力は必要となります。その中で市の取組の大きなテーマである平和と環境は市民の皆さんが安心して生活できるように進めるべきことであり、そのためには若い人の取組はより大切だと思います。

日常の中からできる取組があると思いますので、皆さんとまた今年1年、平和と環境について、一緒に取り組んでいきたいと思っています。



新春対談 市HP